

## 令和7年度 退任委員

(19名の方が退任されました。)

昨年12月に民生委員・児童委員の斉改選が行われ、19名の委員が任期を終えて退任されました。退任された19名の皆様は豊かな人生経験と隣人愛、社会奉仕の精神で地域福祉の担い手として、また住民のもっとも身近な相談相手となり、住民と行政をつなぐパイプ役として日々活動に専念されました。

退任されました委員の皆様の長年にわたり築いてこられた活動を手本にして日々努力をして行きたいと思えます。退任されても健康に留意され地域の中で、ますますご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

本当にお疲れさまでした。



## 退任された委員の方

- 松田 吉正 (10期 30年)
- 澤谷 修 (6期 18年)
- 松浦 敦子 (6期 16年 6ヶ月)
- 服部 峰雄 (4期 12年)
- 唐崎 幸司 (4期 12年)
- 遠藤 照一 (4期 12年)
- 柏川 率子 (4期 12年)
- 櫻井 壽夫 (3期 9年)
- 川島 次夫 (3期 9年)
- 関谷 郁子 (3期 9年)
- 荻野 克美 (3期 9年)
- 佐々木 俊三 (2期 6年)
- 山田 登美男 (2期 6年)
- 石丸 幸子 (2期 6年)
- 木戸 正人 (2期 6年)
- 川村 みな (1期 3年)
- 黒田 高年 (1期 3年)
- 三宅 浩美 (1期 3年)
- 青山 朋美 (1期 3年)

## 編集後記

本広報誌「ふれ愛」の創刊号は平成4年(1992年)5月1日に発行され、その編集後記に、このタイトルに込められた思いが記されています。それは「心ふれあうほのぼのとした温かみを感じる」広報誌であること、皆さんに「読まれる」広報誌、「愛される」広報誌であることです。

不要な情報が氾濫し、私たちの生活や命を脅かす詐欺の情報などが満ちている時代にはたして私たちが発行する広報誌が、名前の精神にふさわしい広報誌になれるだろうかと思ひになります。

しかし、聖書に「互いに愛し合いなさい」ということばがあります。編集に関わる私たちが読者の皆様一人一人を大切に思い、その幸せを祈りながら編集作業を進める事、そしてこの広報誌を手につけて読んでくださる皆様からの温かい応援、励まし、感想など、お互いの温かい心の交流が本広報誌を育てていく力になるのだと思ひます。皆さんと共に愛される広報誌を育てていきますように。

(広報委員長 石垣弘毅)

◎本誌へのご意見や問い合わせなど、身正な民生委員児童委員にお寄せ下さい。

## 民児協だより

# ふれ愛



この広報誌は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

=第67号=  
令和8年3月発行

中標津町民生委員児童委員協議会  
(中標津町役場町民生部福祉課内 ☎74-0884)

## 『共に支えあう民生委員活動に』



中標津町民生委員児童委員協議会  
会長 小柳 ひろみ

日頃から、民生委員・児童委員の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。このたび、民生委員児童委員協議会の会長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いたします。

全国的に、民生委員のなり手不足が話題になっています。中標津町でも今回、いくつかの地区で欠員が出ています。今後も声かけなど続け解消に向けていきたいと思ひます。そんな中でも、新しく民生委員を引き受けてくださった方がいらつしゃいます。本当にありがたく、心強く感じています。また、これまで地域の中で活動を続けてこられた委員の皆さん、日々の見守りや声かけを大切にしてくださっている皆さんには、「あり

がとうございます」という気持ちで、あらためてお伝えしたいです。

地域の暮らしや人とのつながり方は、少しずつ変わってきていると感じます。活動の中で、悩んだり迷ったりすることもあります。一人では抱えきれないと感じる場面もたくさんあります。民生委員の活動は、頑張ります、困ったときには相談し合い、支え合うことが大切だと思ひます。このことが、委員同士が気軽に声をかけ合える、あたたかな雰囲気のある協議会を目指していきたいです。できることを、できる人が、できる形で。

そんな思いを大切にしながら、皆さんと一緒に歩んでいくたいらうれしいです。